

令和6年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

高知県

行 事 名 称	令和6年度 第71回文化財防火デー 防火訓練
実施期間・日時	令和7年1月26日（日） 9時30分～10時10分
実 施 場 所	長法寺（高知県四万十市江ノ村）2847
主 催 者	四万十市教育委員会 生涯学習課

■実施内容

訓練の想定

境内の枯草から出火し、市指定文化財の仏像のある本堂に延焼する恐れがあると想定。寺より約130m離れた最寄りの消火栓からポンプ車を中継しての放水を想定。

訓練の内容

消防署、消防団による放水訓練を実施。

参加者及び役割分担

四万十市消防団 （約20名）：放水訓練
 四万十市消防署 （12名）：119番通報、全体統括、放水訓練、講評
 長法寺関係者（地域住民） （5名）：現場立会い
 四万十市教育委員会 （4名）：現場立会い

特に工夫した点

実際の火災時には消火栓を使用することが考えられるが、今回の訓練では消火栓を使用することにより、当該地域の水道水に濁りが生じることを考慮して、自然水利を利用してタンク車からの放水を行った。

問題点・課題

今回の放水訓練は正面階段からホースを延長したが、寺が一般道路と比較して高い地点にあるため、避難路と消火用の動線をうまく区分する必要がある。また、寺が消防署から離れた場所に位置するため、地域住民と消防団による日頃からの連携や、初期消火の訓練が課題であるとする。

その他

毎年文化財防火デーにあわせて消防訓練を行うことで、地元消防団や地区住民の文化財愛護意識の高揚を図り、防災の必要性を確認する機会となっており、今後も継続して実施することが重要であるとする。

訓練風景

